

プロポーザル2次審査（プレゼンテーション審査採点表）

	通番	評価項目	その他（詳細・目的など）	配点	
セキュリティ	1	セキュリティ対策（個人情報漏えいをしないため措置など）は、十分な対策が取られているか。	提案業者や提案システムのセキュリティ対策について（セキュリティに関する認証等の有無も提示）	/ 70	
	2	ウイルス対策やMDM等で、端末やアプリの挙動を保守委託業者で遠隔制御することができるか。又は、あま市のシステム管理者が遠隔制御することができるか。	インシデントが発生した際の対策	/ 60	
システム全般	3	当該システムの機能改良・向上等の改修を適宜行うことできる向上心のある事業者のシステムか。	今後の拡張性とシステム改修	/ 70	
	4	多言語対応について、保育士・保護者が負担とならない企画提案又はシステムとなっているか。	日本語を話せない保護者への対策	/ 70	
	5	保護者（利用者）にとって親しみやすい、わかりやすい画面表示になっているか。		/ 70	
	6	本市の実情にあった帳票等に対応できる柔軟性のあるシステムか。	あま市の帳票をシステムに反映させることができるか、また後日の様式変更しても無料で対応できるか	/ 50	
	7	情報機器に不慣れな職員でも帳票入力容易であり、負担軽減に工夫がされているか。	データの共有（例 体重を要録や連絡などへの共有）の自動化や任意の定型文の登録利用など	/ 80	
	8	スマートフォンを保有していない保護者に向けた支援策は十分な対応の提案ができていますか。		/ 50	
機器・ネットワーク等の構築	9	インターネット等に接続する回線や施設内ネットワーク等構築は、仕様に準じているか又は仕様以上にあま市最適な提案であるか。	あま市の状況を把握し、どのようなネットワークを提案しているか。	/ 60	
	10	登降園の打刻機器について、過不足なく配置し適切な運用ができると考察されている提案となっているか。		/ 70	
	11	操作機器の台数について、過不足なく配置し適切な運用ができると考察されている提案となっているか。		/ 70	
初年度体制	12	初年度の工事の体制は、窓口が明確であり本市と意思疎通のしやすい体制であり、事務と作業グループとの情報が共有しやすい体制となっているか。	導入の行程やトラブルの情報共有が上手くいくような連絡体制をとっているか。	/ 60	
	13	初年度の工事、システム導入に関して実現可能な工程、作業内容及び支援が明確にされているか。		/ 60	
	14	初年度の工事等のスケジュールは、保育園運営に影響が少ないスケジュールで予定されているか。	どのような日程で工事を予定しているのか。	/ 70	
サポート体制	15	開園している時間等に受けられる操作補助を含むサポート体制は、十分にあるか。 ※ 仕様書要求 サポート体制 平日9時から17時まで	サポート全般	/ 70	
	16	導入次年度以降の当該システム操作研修や保育士への研修（講演等）体制が、十分あるか。（保育士への研修（講演等）とは、例 幼児保育研修、障害児保育研修、当該システム活用セミナーなど）	次年度以降のフォローアップや研修等の企画提案が可能な業者かどうか、その研修は有料かどうか。	/ 80	
費用	17	上記項目を踏まえ、令和6年度設備投資も含めて妥当な価格であるか。 (令和6年度事業上限額 38,328千円)		/ 80	
	18	令和7年度以降の経費が優れているか。又は妥当な価格であるか。 (令和7～10年度の各年度事業上限額 8,325千円)		/ 80	
	19	令和11年4月1日～12月31日の本事業の上限金額の経費が優れているか。又は妥当な価格であるか。 (令和11年度の各年度事業上限額 7,000千円)		/ 80	
デモンストレーション	20	保護者からの欠席連絡の入力や流れは容易であるか。		/ 80	
	21	園側からのお知らせ等、伝えたいことを保護者側に見てもらおうための工夫がされているシステムか。		/ 90	
	22	保護者側からの連絡に対し、園側の見落としが無いようにする工夫がされているシステムか。		/ 90	
	23	お知らせ等過去に配信された内容を検索しやすいシステムか。	キーワード検索 配信一覧 配信文書の再利用	/ 70	
	ヘルプ機能	24	ヘルプ画面（マニュアル画面）は、検索等利用しやすいように工夫がされているシステムとなっているか。	保護者側・園側を問わず（ヘルプ画面（マニュアル画面）への展開と検索方法）	/ 80
その他	その他	25	プレゼンテーションはわかりやすく説得力があり、質疑応答は適切に対応されているか。		/ 90